

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年2月25日(2021.2.25)

【公表番号】特表2020-504165(P2020-504165A)

【公表日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【年通号数】公開・登録公報2020-005

【出願番号】特願2019-539923(P2019-539923)

【国際特許分類】

C 07 D	403/04	(2006.01)
A 61 K	31/506	(2006.01)
A 61 K	31/5377	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
A 61 P	25/30	(2006.01)
A 61 P	9/00	(2006.01)
A 61 P	9/10	(2006.01)
A 61 P	25/32	(2006.01)
A 61 P	25/36	(2006.01)
A 61 P	25/16	(2006.01)
A 61 P	25/28	(2006.01)
A 61 P	25/22	(2006.01)
A 61 P	25/00	(2006.01)
A 61 P	13/10	(2006.01)
A 61 P	9/06	(2006.01)
A 61 P	9/12	(2006.01)
A 61 P	3/10	(2006.01)
A 61 P	21/04	(2006.01)
A 61 P	21/02	(2006.01)
A 61 P	21/00	(2006.01)
A 61 P	25/14	(2006.01)
A 61 P	3/00	(2006.01)
C 07 D	417/04	(2006.01)

【F I】

C 07 D	403/04	C S P
A 61 K	31/506	
A 61 K	31/5377	
A 61 P	43/00	1 1 1
A 61 P	25/30	
A 61 P	9/00	
A 61 P	9/10	
A 61 P	25/32	
A 61 P	25/36	
A 61 P	25/16	
A 61 P	25/28	
A 61 P	25/22	
A 61 P	25/00	
A 61 P	13/10	
A 61 P	9/06	
A 61 P	9/12	
A 61 P	9/10	1 0 1

A 6 1 P 3/10  
A 6 1 P 21/04  
A 6 1 P 21/02  
A 6 1 P 21/00  
A 6 1 P 25/14  
A 6 1 P 3/00  
C 0 7 D 417/04

## 【手続補正書】

【提出日】令和3年1月13日(2021.1.13)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

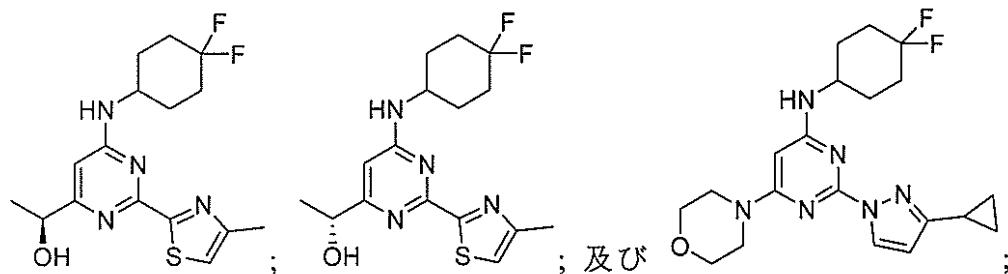
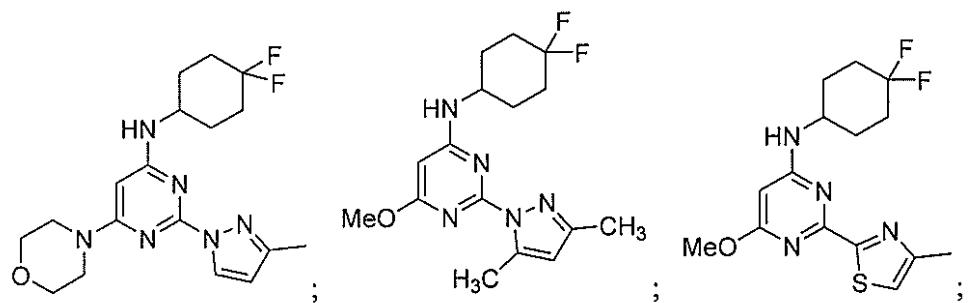
## 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

## 【請求項1】

以下の式の化合物：

## 【化1】

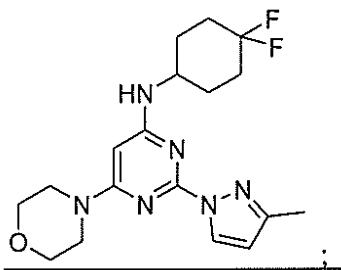


またはそれらの薬学的に許容される塩。

## 【請求項2】

以下の式の化合物：

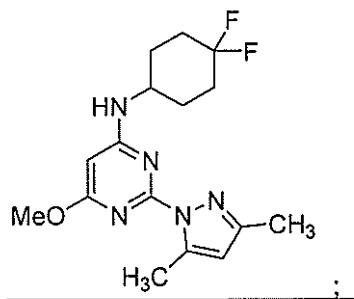
## 【化2】



またはそれらの薬学的に許容される塩である、請求項1に記載の化合物。

## 【請求項3】

以下の式の化合物：  
【化3】

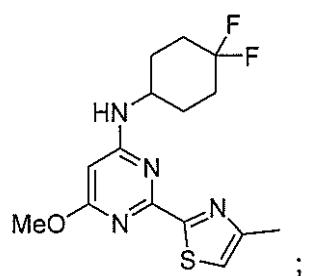


またはそれらの薬学的に許容される塩である、請求項1に記載の化合物。

【請求項4】

以下の式の化合物：

【化4】

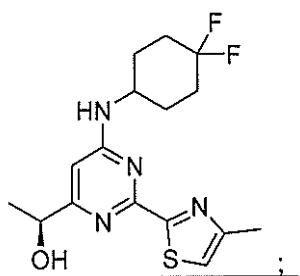


またはそれらの薬学的に許容される塩である、請求項1に記載の化合物。

【請求項5】

以下の式の化合物：

【化5】

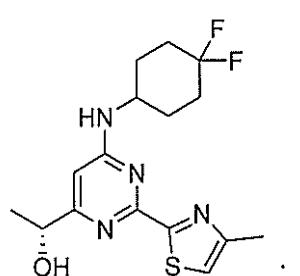


またはそれらの薬学的に許容される塩である、請求項1に記載の化合物。

【請求項6】

以下の式の化合物：

【化6】

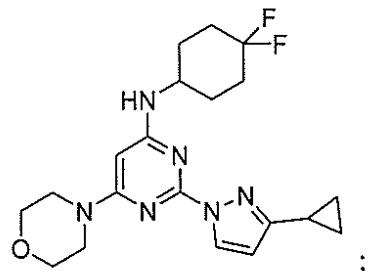


またはそれらの薬学的に許容される塩である、請求項1に記載の化合物。

【請求項7】

以下の式の化合物：

## 【化7】



またはそれらの薬学的に許容される塩である、請求項1に記載の化合物。

## 【請求項8】

請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物またはそれらの薬学的に許容される塩および薬学的に許容される担体を含む医薬組成物。

## 【請求項9】

小コンダクタンスカルシウム活性化カリウムチャネル（SKチャネル）の調節に応答性の疾患または状態の処置に使用するための、請求項8に記載の医薬組成物。

## 【請求項10】

前記疾患または状態が、SK2チャネルの調節に対する応答である、請求項9に記載の医薬組成物。

## 【請求項11】

前記疾患または状態が、神経変性疾患、認知症、心疾患、常用の中止に関連する離脱症状、代謝疾患、および膀胱疾患から選択される、請求項9に記載の医薬組成物。

## 【請求項12】

前記疾患または状態が、運動失調、異緊張症、振戦、パーキンソン病、虚血、外傷性脳損傷、筋萎縮性側索硬化症、高血圧、アテローム性動脈硬化症、糖尿病、不整脈、過敏性膀胱、およびアルコールおよび他の依存性薬物の濫用の中止によって引き起こされる離脱症状から選択される、請求項9に記載の医薬組成物。

## 【請求項13】

前記疾患または状態が本態性振戦である、請求項12に記載の医薬組成物。

## 【請求項14】

前記疾患または状態が運動失調である、請求項12に記載の医薬組成物。

## 【請求項15】

前記疾患または状態が脊髄小脳失調症である、請求項14に記載の医薬組成物。

## 【請求項16】

前記疾患または状態が不安である、請求項10に記載の医薬組成物。